

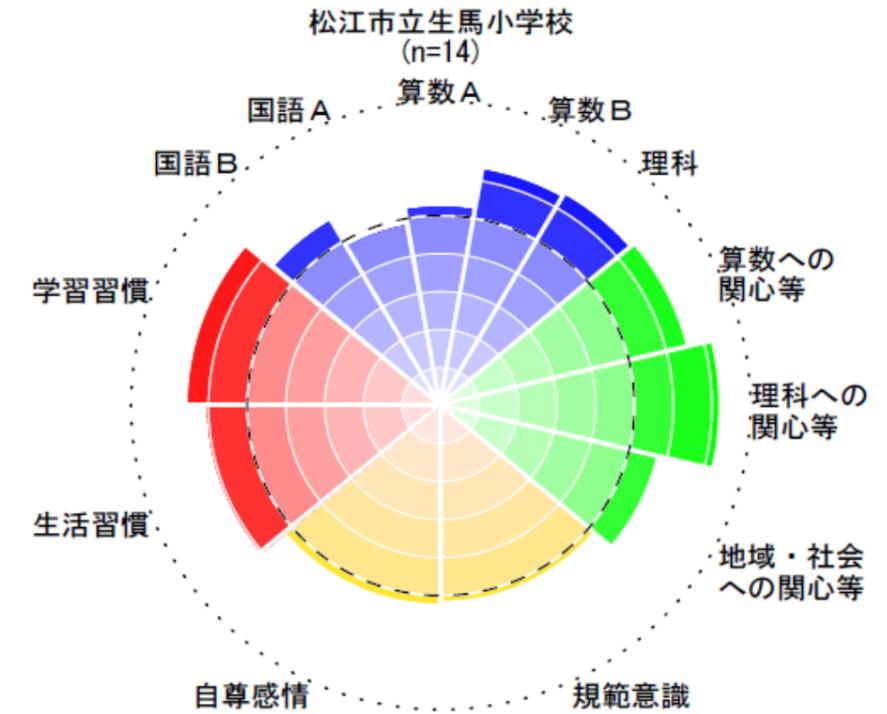
平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立生馬小学校）

平成30年9月25日

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
国語	A (基礎)	○話すこと、聞くことの方がついてきている。 ●漢字に対する意味の理解が浅い。生活の中で、語彙を広げる力がやや弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の書き取り会を継続して行う。 ・計画的に読書指導を行う。 ・漢字を繰り返して練習することに加え、漢字を使った短作文作りや熟語集めなどを行う。 ・要点を読み取る練習として、キーワードを見つけるような学習活動をゲーム感覚で行う。長い文章や段落の要点を簡潔に書くという経験を中学年から徐々に増やしていく。
	B (活用)	●文章を正しく読み取ったり、要点をまとめて書いたりする力がやや弱い。	
算数	A (基礎)	○数学的な考え方、量と測定の正答率は高かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリル学習やプリント学習を繰り返し行う。 ・問題を解くときに式を書いて終わりではなくて、図を描いたり説明をしたりすることに重きを置いて指導し、意味理解を図る。 ・日常生活と関連付けた授業や、考えることが楽しいと感じる授業を継続して行う。
	B (活用)	●小数の掛け算・割り算のイメージや理解が曖昧である。	
理科		○意欲的に学習に取り組んでいる。 ○自然観察など身近な生活環境がきている。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも物理・化学などの法則性や仮説をもって実験する学習を大切にしたい。

(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



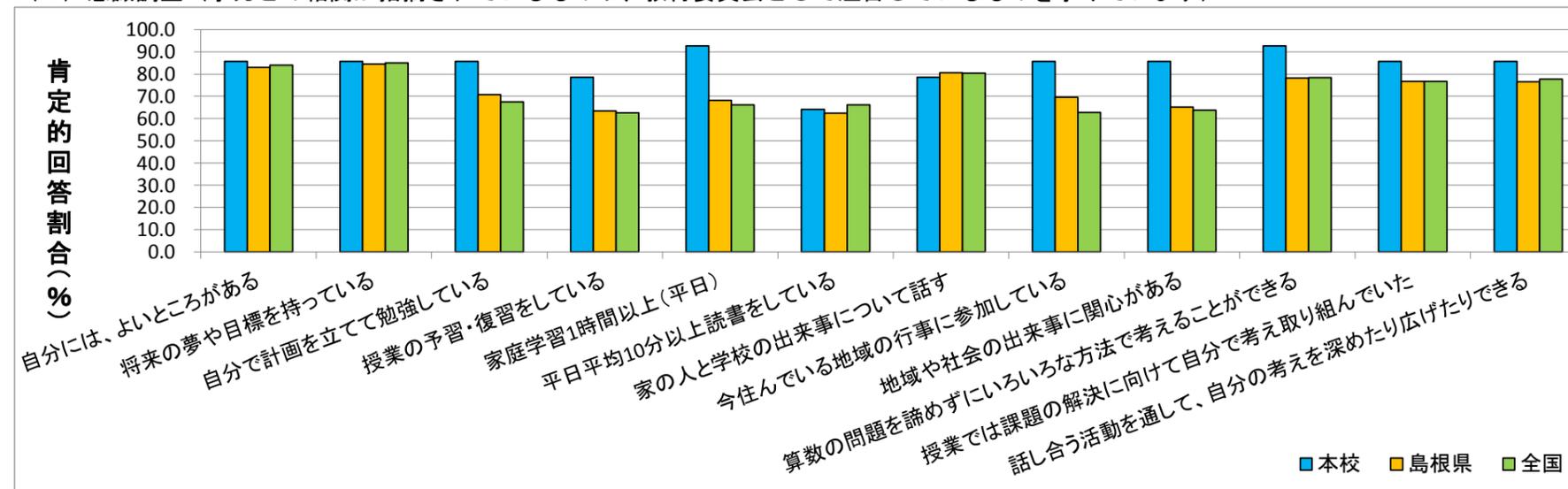
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
		<ul style="list-style-type: none"> ○自分で計画を立てながら家庭学習を進める習慣が定着しつつある。 ○学習にまじめにかつ最後まであきらめず取り組む力がある。 ●読書の量・質ともに物足りない。 ●家の人と学校の様子について話す子の割合がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い読書ができるように、図書館司書と連携して選書の指導を行う。 ・親子の会話の材料となるように、連絡帳や学級通信などで子どもの活躍・情報を積極的に家庭に伝えるようにする。

(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・「めあて」「まとめ」「ふり返り」のある授業作りに努めるとともに授業や自主学習ノートをていねいに指導することにより、子ども達が「分かる喜び」や「できる楽しさ」を感じられるようにする。
- ・自他を認め合い、自尊感情を育てること。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



【参考】

○平均正答率

		本校	松江市	島根県	全国
国語	A	69	70	68	70.7
	B	60	57	55	54.7
算数	A	65	62	61	63.5
	B	63	50	49	51.5
理科		70	59	58	60.3

受検者数 14人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。